



## 理念

- ・ 良質で心温まる医療
- ・ 奉仕の精神
- ・ 研鑽と謙虚

## 基本方針

- ・ 患者さまの権利を守ることを第一とする
- ・ 患者さまとのコミュニケーションを大切にす
- ・ 常に医療倫理の元に行動する
- ・ 医療安全管理の基本を怠らない
- ・ 良い接遇は良い医療を生み出すことを銘記する

豪雨災害から一転して過去に例のない猛暑で皆さんお疲れでしょう。あまりの暑さに外出は控え、行動に注意することもあり返って患者数は減少するのがこの時期一般的です。皮肉なもので病院に通院できる人はある程度元気のある人ということになります。

先日の雨災害以降、初めて夕立があり、少し凌ぎ易くなりました。暑さ寒さも彼岸までと昔から言われてきましたが、亜熱帯化のため日本の四季も少しずつ変化しています。受け止めるしかありません。

広島大学が東広島市に移転して以来周辺地区は活力を失い低迷していましたが、広島大学跡地の再開発も進み、さらには今後たかの橋商店街周辺も再開発がなされるものと期待しています。

狭い三角州の中に大病院が乱立する当地において、存在感のある病院経営をするには大病院にないきめ細かい対応が必要です。チーム医療の推進、医療安全の追求、たゆまない研鑽で患者さんに喜ばれ、従業員も満足度の高い病院に、さらにはこの地区の人たちに信頼され支持していただけるような病院にしていきたいと思えます。もちろん併設する介護老人保健施設「陽だまり」との連携もこれまで以上に緊密にしていきたいと思います。

あらゆる職種の方々からの情報を集約し、個々の能力を発揮して患者さん一人ひとりに優しい、最良の医療を提供する環境作り、コミュニケーションの場を作りたいと思えます。患者さんからの情報提供も大切です。遠慮なく相談室や職員に申し出てください。お金では解決できないモノも心や知恵で解決していきたいと思えます。



病院長 大庭 治

## ◎ ふれあい祭り 開催のお知らせ ◎

今年も  
やります！

2018年10月20日（土）14：00～17：00

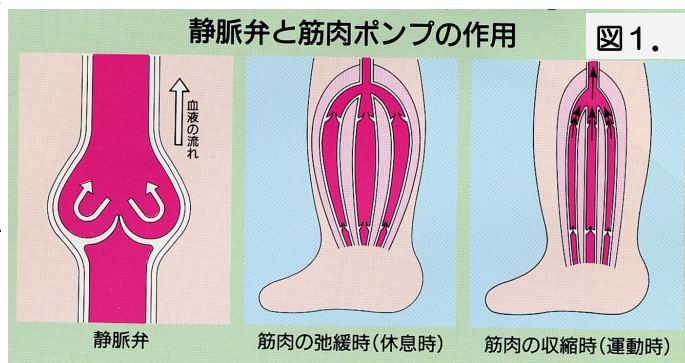
場所：介護老人保健施設 陽だまり たかの橋中央病院



## 「廃用性浮腫」をご存知ですか？

### 【はじめに】

としを取ると、よく下肢がむくむ現象が起こります。この下肢のむくみを、**起立性浮腫**と言います。人間は起床後、立位・座位で日中を過ごしますが、成人が立った状態で過ごすとき、心臓を起点として踵までが130cm位となり、単純計算で下腿では100mmHg位の静水圧がかかります。ただじっとしているとこの圧が常に下肢、特に膝下に掛けてしまい慢性的なうっ血状態が続きますが、実際には下肢筋肉を収縮することと静脈弁の働きで重力に逆らって静脈血を心臓に戻します。この下肢の血液の流れを「**静脈還流**」と呼び、この静脈還流の駆動力となる下肢、特に下腿の筋肉の働きを「**筋ポンプ作用**」と呼びます(図1.)。因みに同じ哺乳類でも四つ足歩行の脊椎動物では、高い静水圧は掛らず下肢(=後ろ足)の浮腫は生じません。



### 【典型的廃用性浮腫症例の一日】

朝起きて着替えをして、一人で朝食のパンを食べる。そのまま台所で座ってテレビを観ていたらお昼になった。昨日の夕食の残りを食べ、またテレビを見ていると日が暮れてしまったので、冷蔵庫内の残りもので夕食を作った。外出は週一回近所のスーパーへ買い物に行くのと、月1~2回の病院受診だけで、屋外に出ることはめったにない。家族は近くに住んでおり、月1回程度様子を見に来てくれるので、何時も「何も変わりなく元気よ!」と答えている。一人で気ままに生活しているが、最近は2階に上がるのも億劫になり、ほとんど1階のリビングと台所で過ごしている。

### 【なんで廃用性浮腫が生じるの?】

ここまで読んでくると、何でお年寄りの脚が腫れるか予想がつくと思います。一般に、高齢者はあまり歩かないので筋肉のポンプ作用が低下し、さらに皮膚緊張度も下がるので、容易に下肢浮腫を生じやすく、これを「**廃用性浮腫**」と呼んでいます。これは健康な成人についてもいえることですが、夕方になると脚が腫れるのもこの機序が関与しており、心不全のある人や、腎機能低下で水分排泄のできない人、肝障害による低アルブミン血症などを伴っていると特に重症化します。

### 【廃用性浮腫症例の治療例】

**症例**：87歳、女性、独居

**主訴**：右下肢皮膚潰瘍と排液

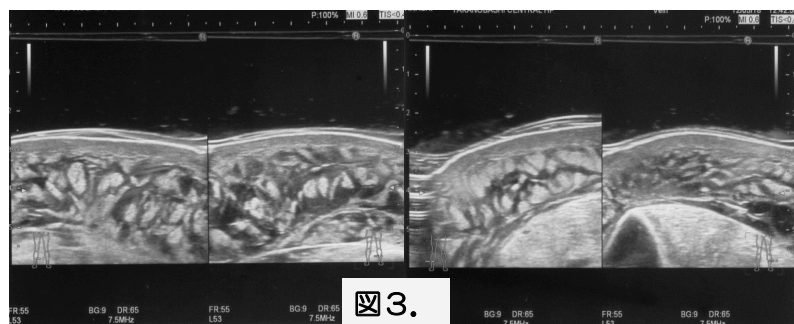
**現病歴**：2011年6月右閉鎖孔ヘルニア嵌頓にて緊急手術後、左下腿深部静脈血栓症発症。立位・歩行は困難となり自宅内伝え歩きと車イスで生活していた。以前より両下肢の腫れは自覚していたが今回、下腿より液が漏れるようになり心配になり2012年5月に近医受診し、当院血管外科紹介となった。



**初診時所見 (図2.)**：両下肢に腫脹認め、左下腿は皮膚びらんとなりこの部よりリンパ液漏出を認めた。

**超音波検査所見 (図3.)**：両下肢、特に下腿全周にわたり、皮下脂肪織内に組織液の著明な貯留を認めた。浮腫の分布は左右対称で、末梢側ほど強く、大腿部・下腹部にはほとんど見られなかった。

**退院後所見 (図4.)**：2週間の圧迫治療で、体重51kgから38kgへ13kg減少し、立位・歩行が可能となり、独歩で退院された。



## 【廃用性浮腫に対する治療】

この症例に用いた治療法は複合的療法（CDT）と呼ばれるもので、たかの橋中央病院血管外科で四肢リンパ浮腫治療に用いられている保存的治療法です。四肢リンパ浮腫では皮下に溜まっているリンパ液のアルブミン濃度が高いため、中々治療効果を得ることができませんが、廃用性浮腫は皮下に溜まったリンパ液のアルブミン濃度は低いためCDTに用いる圧迫療法で比較的容易に下肢の浮腫を軽減することが可能です。ただし、【典型的廃用性浮腫症例】の一日で述べましたように、これらの疾患を発症する症例の多くが、日々の活動性の低下した独居高齢者、もしくは家人の協力の得られない方が多く、一旦脚の腫れが引いて自宅に帰っても、元々の下肢を使わない日常生活に戻ると直ぐに脚が腫れ、外来受診時には、また元の木阿弥というのが現状です。

## 【現状と対策】

たかの橋中央病院血管外科に下肢リンパ浮腫として紹介される症例の実に半数以上がこの廃用性浮腫です。提示した症例の如く患者自身に運動能力が残っている症例や、患者さんの社会背景・家庭環境を確認し、家人の治療協力が可能な症例を治療対象としていますが、ざっくり言って廃用性浮腫と診断した症例の50%以上が運動能力低下や介助者がいないため治療を断念しております。因みに寝たきりになってしまうと、この下肢の廃用性浮腫は解消されますが、患者さんと家族にとっては問題の解決ではなく、新たな困難の始まりであり、何とか廃用性浮腫の段階で、再度一人で歩ける日常生活に戻してあげたいです。

家人の協力が得られない状況であっても、現行の介護保険や訪問看護・在宅医療を有効に活用できれば、帰宅後も治療効果を維持することは可能であると思います。これには診察医が一人で頑張ってもどうにもならず、チーム医療での対応が必須です。現在廃用性浮腫に対するCDT治療を広島県内で行っている施設は当院しかありませんが、この様な活動を継続し、社会復帰できる高齢者が増えれば、他の医療機関も治療に参加してくださると思います。核家族化の進む現状で、社会全体での早急な互助が求められている分野です。まずは院内のご協力お願い致します。そのためには先ずは毎月2回開催しております院内リンパ浮腫勉強会にご参加頂き、廃用性浮腫の理解を深めることをお勧めします。

リンパ浮腫勉強会は「予約不要・無料でどなたでも参加できます！」

たかの橋中央病院血管外科

春田 直樹

## 「ふれあい看護体験」

今年も高等学校から4名の生徒さんが看護体験に来られました。自動体外式除細動器を使った蘇生模擬体験(左下)や医療職種別の業務(右下)などを見学されていました。皆さん、真剣な眼差しでした。



**外来診察担当医表**

平成30年4月1日現在

診療科	区分		月	火	水	木	金	土
内科	午前	1診		梅村(糖尿)	大庭	山本屋(糖尿)		
		2診	麻奥	小泊	阪田	麻奥	麻奥	阪田
		3診		中村		小泊	中村	中村
	午後	1診		田妻(胆石)	大庭			
		2診	阪田	阪田	麻奥		阪田	
		3診		麻奥 第1、第4 14:30~16:00	中村			
整形外科	午前		久保田/手術	瀬分	久保田	久保田	久保田/手術	山崎
	午後		久保田	瀬分	久保田	手術	瀬分	
外科	午前		赤羽	手術/広大			赤羽	
	午後		手術/赤羽		広大病院		手術/赤羽	
血管外科	午前		春田	手術		硬化療法	春田	
	午後		手術	手術	春田		手術	
乳腺外来 ※完全予約制	午前							片岡
	午後							
耳鼻咽喉科	午前		林(鷹)	林(鷹)	林(鷹)	林(鷹)	林(鷹)	林(鷹)
	午後		林(鷹)	手術	林(鷹)		林(鷹)	
泌尿器科	午前		林(睦)/井上/岡	林(睦)/井上/岡	受付 8:30~12:00 林(睦)/井上/岡 手術	(林(睦))/井上/岡 手術	林(睦)/井上/岡	(林(睦))/井上/岡
		午後	林(睦)/井上/岡	林(睦)/岡	手術	林(睦)/岡		
	排尿障害 尿失禁外来		井上 16:00~17:00			井上 14:30~17:00		
脳神経外科	午前		秋光	秋光(橋詰)	秋光(橋詰)	秋光	秋光(橋詰)	橋詰
	午後			秋光(橋詰)	秋光(橋詰)		秋光(橋詰)	
歯科口腔外科	午前		吉賀	吉賀 腫瘍外来 10:00~12:30	吉賀	吉賀	吉賀	吉賀
	午後		手術	全身麻酔手術	手術			全身麻酔手術
皮膚科	午前		江草 9:00~12:00		江草 9:00~12:00			
	午後							

備考	脳神経外科においては、紹介患者のみの予約外来となっています。 乳腺外来・歯科口腔外科外来は、要予約となっています。 血管外科の硬化療法は要予約となっています。 泌尿器科の林(睦)医師の土曜日の診察は、第4土曜日のみとなります。また、第4木曜日の林(睦)医師の診察は休診となります。 内科の田妻医師の火曜日の診察は、14時30分の予約のみとなります。
----	--

**外来診察時間**

各診療科ごとに休診日など異なりますので、外来担当医表と合わせてご確認ください。

曜日	種別	午前	午後
月・火・水・金曜日	受付時間	8:30 ~ 18:00	
	診察時間	9:00 ~ 13:00	14:30 ~ 18:30
木・土曜日	受付時間	8:30 ~ 12:30	休診
	診察時間	9:00 ~ 13:00	

※ 日曜日、祝日 休診

